

ピンクリボンNEWS japan

2014年
冬号
Vol.3 No4

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWSJapan 編集委員会

発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動®

TOPICS

J.POSHピンクリボン検定 「基礎コース」を開始しました

認定NPO法人J.POSH 副理事長 平田 享

11月11日、ピンクリボン検定基礎コースをJ.POSHホームページに開設しました。昨年12月12日にピンクリボン検定入門コースを開設しましたが、この検定基礎コースはその上級コースになっています。また、来年2015年には、ピンクリボン検定発展コースを開設する予定です。J.POSHがピンクリボン運動を始めたのは、2002年からです。当時は、日本女性の30人に1人が「乳がん」に罹患すると言われていましたが、現在は、13～14人に1人は、罹患するという増加の傾向にあります。当時「乳がん」に対する情報・知識は、現在と比べ格段に少ない状況で、自分で胸のしこりを発見しても、専門医師の診察を受けず、手遅れになった方がたくさんいました。現在、そのような方は少なくなりましたが、検診率は、さほど上がっていません。このような状況で、すべての女性とそのご家族へ、「乳がん」とピンクリボン運動について関心と理解を深めていただくことを目標として、ピンクリボン検定を立ち上げました。このような大きな目標を掲げましたので、検定コース立ち上げ時には大いに悩みました。設問内容を考える際に注意した点は、

- * 「乳がん」という重く避けられがちな話題を、クイズ的に楽しみながら興味を持っていただく。
- * 検診に関する事前情報を学ぶことにより、受診に対する安心感を持っていただく。
- * 検定を通じて「乳がん」に関する知識を深めてピンクリボン運動に興味を持っていただく。
- * 検定を受けられた方々が周囲の人達へ正しい情報を伝えていただく。(口コミ効果)



具体的な設問作成時に気遣ったのは、

- * 医学的な「乳がん」の情報については、医師の目線ではなく、一般人の目線になるように注意しました。
- * 表現は、やさしく難しくならないよう心がけました。
- * 安心して検診を受けてもらうために正しい有意義な情報を設問に入れました。

設問の中にある例ですが、1,000人が検診を受けると50～100人が再検査となります。再検査の結果、「乳がん」と診断される方は、約3人というのが現状です。また、しこりの約90%までは、良性ということも事実です。このような事を知ることで、再検査を通告された方、自分でしこりを発見した方の心の負担が、かなり軽減されるのではないかと考えています。また、周囲の人達にこのような情報を伝播することにより受診に対する壁を低くすることになると考えています。また、ピンクリボン運動についても、一般人には正確に伝わっていないと思っています。成り立ちから始め、運動についての正確な情報を知ることにより、ピンクリボン運動に意義を見出していきたいと思っています。

以上が検定コース開設時において気遣った点ですが、どうでしょうか?これを読んでいただいた皆様も是非ピンクリボン検定をゲーム感覚で合格するまで楽しんでください。そして、できれば、3千円で寄付金付き合格証を申し込んで下さい。この寄付金は、「J.POSH奨学金まなび」への基金となります。



ピンクリボン検定
基礎コースの合格証

ピンクリボン検定へのアクセスは

- パソコンから <http://www.j-posh.com/exam/>
- スマートフォンからは右のQRコードよりアクセスして下さい。



乳がんTure-Zure

リレーコラム第10回

乳がん関連のブログを通じて感じたこと

勤医協中央病院 乳腺センター長/外来化学療法室長

鎌田 英紀

今回のリレーコラムは、私のブログなどを通じてお知り合いになったJ.POSHのスタッフの方からお話をいただきました。私が乳がん関連のブログを書き始めてからもうすぐ6年が経過します。なぜブログを始めたかと言いますと、その前に登録していた乳がん関連のSNSの書き込みの内容に間違った認識や怪しげな情報があふれていることに危機感を覚えたからです。

最初は1日数人から数十人だったアクセス数ですが、継続しているといつの間にかけてこう見てくれる方が増えてきました。アクセス数が増えるとうれしいものですが、私自身それほどネットの扱いに詳しいわけではありませんでしたので、何度か困った経験もしました。言葉遣いや書く内容には細心の注意を払っていたつもりでも不特定多数の人が見るとさまざまな予期せぬことが起きるものです。中でも無断で、あるサイトに事実とは違う形で(悪意の有無はわかりませんが)引用されていたときには、恐怖感さえ覚えました。

さて、このブログは乳がんの情報を提供することが主目的です(最近なかなかネタが少なくてスランブ気味ですが…)。トップページには、“記事と無関係な個人的な相談やセカンドオピニオン目的の質問

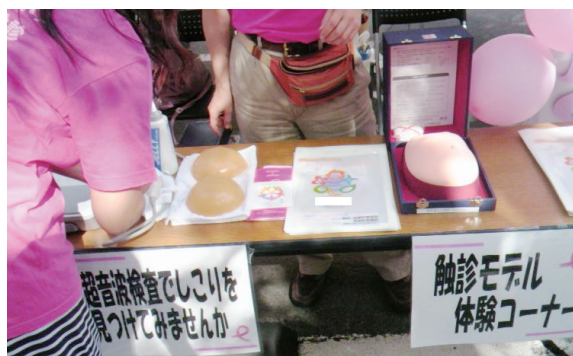


鎌田先生(左端)と、外来化学療法室のスタッフの皆様

はご遠慮下さい。”と書いてあるのですが、ほとんどの方は検索からここにたどり着くため注意事項を読まずに書いてしまいます。結局さまざまな方からの診断や治療内容についての相談が毎日のように書き込まれてしまいます。お答えできる範囲でできる限りお答えはするのですが、そのほとんどが主治医に聞けば解決するはずの質問であることです。診察もせず画像も見えていない私が主治医以上のことを言うはずはないのですが、こういうブログに質問を投稿するのは、主治医に気軽に質問できる雰囲気ではないのかなと感じています。それは乳腺外科医があまりに多忙でゆっくり話す時間がないことも理由の1つではないでしょうか。私の役割は、簡単な質問に答えることで主治医の先生に質問できるように促すことだと思っています。

このブログではピンクリボン活動についても時々ご紹介しています。2014年は、「ピンクリボン in SAPPORO」の活動として、がん患者さんの就労問題を考える「ワーキング・サバイバーズ・フォーラム」の開催、「北海道を歩こう」、「ピンクリボン・チャリティコンペ」、「ピンクリボン in SAPPORO 2014(写真は触診モデルと手作りの超音波検査モデル)」などのイベントでの啓発ブース展示、そして10月19日のJ.M.Sへの参加など盛りだくさんの活動を行うことができ、ブログでも紹介しました。

乳がんについての正しい知識の普及のため、そして乳がん啓発活動に少しでも役立てるようにこれからも細々とこのブログは継続して行きたいと思っています。



ピンクリボン in SAPPORO 2014の展示ブース

新オフィシャルサポーター様訪問



株式会社 マーベリック

<http://maverick-inc.com/>

建設工事事業、電気通信設備工事事業、人材派遣事業など多角経営を展開する株式会社マーベリック社(本社=兵庫県姫路市、資本金=1000万円、松本徹社長)。設立9年目に始めた生命保険損害保険代理店事業が大きな柱に育ってきた。

保険事業はみつばち保険のフランチャイズとして、兵庫県内に4店舗(アスピア明石、イオンタウン姫路、エコー・リラ藤原台、イオン小野)を展開中。同社は今年10月29日、認定NPO法人J.POSHのオフィシャルサポーター(OS)に登録されました。

保険事業の責任者である生田裕也マネージャーは「来店された乳がん患者の若い女性の方が『がん保険に加入しておけばよかったと悔やんでいます。がん保険の価値に気付いたので、主人には是非加入させたいと思います』という主旨の発言を耳にしたのが、OS登録のきっかけとなりました。J.POSHの活動への参画を通じて保険の大切さを知ってもらいたいと思います。」と語る。

個人サポーター様からのお便り

J.M.S(ジャパン・マンモグラフィーサンディー)を通して

臨床検査技師 瀬音 尚美さん

個人サポーターに登録したものの、漠然と仕事と家事と育児と毎日を過ごしていました。

5年前に健診センターに勤務異動になりJ.M.S(ジャパン・マンモグラフィーサンディー)の案内がありましたが、初めてのことで参加しませんでした。しかし、3年目には新人の放射線技師から“やりましょう”の一言で参加することになりました。参加することにしたものの何をやってよいのか分からず頭の中は空回り…。そんな中2012年に熊本で乳がん学会が開催され、啓発グッズのお手伝いとして参加した際にJ.POSHの平田以津子理事さんとお会いしました。初対面でありながら子育てや、家族のこと、ピンクリボン活動などの話をすることができ、JMSへの参加にあたってのアドバイスも頂きました。「ただ賛同するだけでは人は集まらない。広報や媒体の作成等やり方の工夫が必要」と言うことでした。そのアドバイスのもと、地元紙の人吉新聞社様には、乳がん検診受診率の低さや乳がん検診の必要性を掲載していただきました。また、人吉・球磨の市町村の保健師さん達にはポスター掲示や回覧の協力をお願いしました。



右から生田マネージャー、原千晶さん、大釜さん、スタッフ

同社が展開する活動は

1. 乳がん触診体験イベント

(各店舗で乳がん触診キットを使用して乳がんに関するQ&A実施)

2. 乳がんセミナー

(同社の女性スタッフが講師となって乳がんの啓発活動を実施)

3. 無料講演会

(がんに罹患経験のある著名人などを講師に迎え講演会開催=最近、子宮がん経験のタレント・原千晶さんを講師に、約80人が聴講)

4. 4店舗の店頭にてピンクリボングッズの配布、ポスター掲示など。

イオンタウン姫路店の店頭で来店客の相談業務に就いている大釜佳代子さんは「乳がんに対し、女性がもっと積極的に取り組んで頂けるように活動していきたい」と抱負を語る。



瀬音さん(前列左)と健診センターのスタッフの皆様

初年度はポスター作製に苦労するとともに、市町村への回覧準備と大変でしたが、3年目にもなると若手技師が手際よく素敵なポスターができ上がりその甲斐もあって今年は41名の方々に受診していただきました。「日曜日に受診できてありがたい」「スタッフが優しいので安心して受けられる」と言う嬉しい言葉をいただきました。私たち健診スタッフは、ただJMSに賛同して受診率を上げるだけでなく、自己検診の普及や検査方法の違い(マンモグラフィと超音波)、早期発見・早期治療の重要性などを地域住民の方々へ伝えていくことも大切かと思えます。もちろんスタッフの意識も変わってきており、マンモグラフィ認定技師、超音波検査士の資格や、ピンクリボンアドバイザーの誕生をきっかけに、更なる技術の向上を目指して日々頑張っています。私ひとりでは何もできませんが、良い仲間がいてお互いを支え合うことによりピンクリボン運動をこの人吉・球磨に浸透させ女性の方々が素敵で楽しい人生が送れたらと思っています。



10月第3日曜日はマンモグラフィ検査が受けられる日曜日

2014 J.M.S.、366 機関で実施

認定NPO法人J.POSHが提唱し今年6年目を迎えた休日乳がん検診《ジャパン・マンモグラフィ・サンデー》(JMS)は、賛同医療機関の拡大により過去最高の受診者数を記録することが確実となりました。改めて関係者の皆様に御礼申し上げます。

今年=2014年10月19日の日曜日に実施されたJMSに検診窓口を開いて頂いた全国の医療機関は366機関となり、前年比14機関拡大しました。この結果、受診者も拡大(最終結果集計中)し、日曜日に実施する意義を改めて確認することができました。

2009年10月18日の日曜日に全国218の医療機関で初めて実施されて以降、表のように毎年拡大しています。来年もまた、さらに多くの医療機関のご賛同を得て、より多くの皆さまが受診して頂きますよう活動をしてまいります。

実施年度	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
賛同医療機関数	218	315	318	340	352	366

ご賛同頂きました医療施設とスタッフ・関係者の皆様ありがとうございました

2014年度 J.M.S 参加医療施設様 一覧

北海道

札幌北辰病院
札幌徳洲会病院
手稲溪仁会病院
NTT東日本札幌病院
札幌厚生病院
勤医協中央病院
天使病院
札幌東徳洲会病院
勤医協札幌病院
東札幌病院
札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル
札幌複十字総合健診センター
旭川医療センター
市立旭川病院
道北勤医協一条通病院
総合病院伊達赤十字病院
釧路孝仁会記念病院
釧路協立病院
釧路労災病院
日鋼記念病院
直江クリニック
北斗病院
センチネルクリニック
帯広第一病院
王子総合病院
函館五稜郭病院
市立函館病院
北美原クリニック乳腺センター
秋山記念病院
函館病院

共愛会病院

函館市医師会病院
函館赤十字病院
函館中央病院

青森県

あおもりベイクリニック
青森県総合健診センター
北村医院 むつレディースクリニック
十和田市立中央病院
八戸市総合健診センター
メディカルコート八戸西病院附属 八戸西健診プラザ

岩手県

いわて健康管理センター
公益財団法人岩手県予防医学協会 本所
プレスト齊藤外科クリニック
一関病院

秋田県

藤原記念病院
秋田病院
本荘第一病院

山形県

篠田総合病院
公立学校共済組合東北中央病院

福島県

竹田総合病院
菅野医院

茨城県

木根淵外科胃腸科病院
龍ヶ崎済生会 総合健診センター

栃木県

小林外科クリニック

国際医療福祉大学病院

群馬県

横田レディースクリニック
マンモプラス竹尾クリニック
狩野外科医院
伊勢崎市民病院
桐生厚生総合病院
黒沢病院附属ヘルスパーククリニック
角田病院

埼玉県

東大宮総合病院
南越谷健身会クリニック
ティーエムクリニック
戸田中央総合健康管理センター
戸田中央総合病院
東埼玉総合病院
行田中央総合病院
みさと健和病院
庄和中央病院
所沢第一病院
新座志木中央総合病院
堀ノ内病院
医療法人 稲生医院
武南病院附属クリニック
二宮病院
朝霞台中央総合病院
イムス三芳総合病院
伊奈病院

千葉県

千葉東病院
新浦安虎の門クリニック

聖隷佐倉市民病院
 行徳総合病院
 千葉県済生会 習志野病院
 メディカルスクエア奏の杜クリニック
 津田沼中央総合病院
 谷津保健病院
 習志野第一病院
 船橋総合病院
 銚子市立病院
 人間ドッククリニック柏
 千葉・柏たなか病院
 おおたかの森病院
 東葛病院
 千葉愛友会記念病院

東京都

葛飾区保健所
 有明病院
 JCHO東京高輪病院
 芝診療所
 代々木病院 健診センター
 JR東京総合病院
 ヒロオカクリニック
 新宿プレストセンター クサマクリニック
 高井戸東健診クリニック
 東京衛生病院
 東伊興クリニック
 牧田総合病院人間ドック健診センター
 田園調布中央病院
 銀座ブリマ・クリニック
 中野共立病院附属健診センター
 板橋中央総合病院
 東京腎泌尿器センター大和病院
 ベルーガクリニック
 春日クリニック
 明理会中央総合病院
 3Sメディカルクリニック
 大泉生協病院
 公立阿伎留医療センター
 稲城市立病院 健診センター
 一橋病院
 うしお病院
 武蔵野総合クリニック
 日の出ヶ丘病院 健診センター
 西東京中央総合病院
 佐々総合病院
 聖ヶ丘病院
 八王子山王病院
 吉祥寺プレストクリニック
 立川中央病院附属健康クリニック
 リボンレディースクリニック
 井上レディースクリニック

神奈川県

横浜旭中央総合病院

上白根病院
 金沢文庫病院
 戸塚共立メディカルサテライト健診センター
 戸塚共立サクラクリニック
 さつき台診療所
 済生会神奈川県病院
 南山田クリニック
 聖隷横浜病院
 神奈川県労働衛生福祉協会
 長津田厚生総合病院
 湘南記念病院
 東名厚木メディカルサテライトクリニック
 ヘルスケアクリニック厚木
 京浜保健衛生協会
 相模原中央病院
 相模原赤十字病院
 平塚共済病院

富山県

富山協立病院
 中村記念病院

石川県

城北病院
 敬愛病院
 KKR北陸病院
 公立つるぎ病院

福井県

福井県済生会病院
 広瀬病院

長野県

高橋医院
 前澤病院
 佐久総合病院
 一之瀬脳神経外科病院
 相澤健康センター
 信濃町立 信越病院

岐阜県

関中央病院
 郡上市国保白鳥病院
 市立恵那病院
 恵那メモリアルクリニック
 久美愛厚生病院
 多治見市民病院
 木沢記念病院
 太田病院
 揖斐厚生病院

静岡県

聖隷健康サポートセンター Shizuoka
 SBS静岡健康増進センター
 伊豆保健医療センター
 池田病院
 五十嵐クリニック
 聖隷沼津第一クリニック 聖隷沼津健康診断センター
 岡本石井病院

コミュニティーホスピタル甲賀病院
 NTT東日本伊豆病院
 市立島田市民病院
 熱海所記念病院
 浜松医療センター
 浜松労災病院
 浜松赤十字病院
 聖隷予防検診センター
 川村病院

愛知県

ひまわりクリニック
 名古屋市役所
 熱田リハビリテーション病院
 大雄会第一病院
 一宮西病院
 千秋病院
 岩倉病院
 刈谷豊田総合病院 高浜分院

三重県

桑名東医療センター
 桑名西医療センター
 ヨナハ総合病院
 山中胃腸科病院
 済生会松阪総合病院 健診センターあさひ
 松阪市健診センター ひーす
 鈴鹿中央総合病院

滋賀県

守山市民病院
 東近江敬愛病院

京都府

乳腺外科 仁尾クリニック
 洛和会 音羽病院
 三菱京都病院
 洛西ニュータウン病院
 京都民医連中央病院
 同仁会クリニック
 京都鞍馬口医療センター
 田辺中央病院

大阪府

大阪鉄道病院
 すずかけの木クリニック
 育和会記念病院
 千船病院
 大阪警察病院
 医誠会病院
 大阪病院(旧大阪厚生年金病院)
 茶屋町プレストクリニック
 リボン・ロゼ田中完児乳腺クリニック
 城山病院
 乳腺ケア泉州クリニック
 大阪医科大学健康科学クリニック
 清恵会病院
 馬場記念病院

田仲北野田病院
竹田クリニック
関西医科大学附属滝井病院
関西医科大学 香里病院
大慶会 星光病院
東大阪生協病院
医真会八尾総合病院
八尾市立病院
市立ひらかた病院
摂南総合病院
和泉市立病院

兵庫 県

神戸掖済会病院
伊川谷病院
神戸協同病院
甲南病院
東神戸病院
健康ライフプラザ
神戸百年記念病院
服部病院
チャイルド&レディースクリニック サンタクルス ザ シュクガワ
さきたクリニック
赤穂市民病院
柏原赤十字病院
兵庫県立柏原病院
カーム尼崎健診プラザ
長尾クリニック
きたつじクリニック
市民健康開発センター ハーティ 21
尼崎医療生協病院
みやうちクリニック

奈良 県

大阪プレストクリニック学園前
西奈良中央病院
鎌田医院田園診療所
葛城メディカルセンター
天理市立メディカルセンター

和歌山 県

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
紀和病院
健診センター・キタデ

鳥取 県

鳥取生協病院
鳥根県松江記念病院
安来市立病院

岡山 県

岡村一心堂病院
岡山大福クリニック
セントラルクリニック伊島
おおもと病院
渡辺胃腸科外科病院
水島第一病院
総合病院 水島協同病院

倉敷リバーサイド病院
倉敷成人病健診センター
武田病院
倉敷平成病院

広島 県

長崎病院
中央通り乳腺検診クリニック
ひろしま駅前乳腺クリニック
本永病院
興生総合病院
須波宗斉会病院
広島総合病院
府中市民病院
沼隈病院
いしいクリニック

山口 県

阿知須共立病院
阿知須同仁病院
佐々木外科病院
針間産婦人科
下関さくらクリニック
医療法人 岩国病院
光市立大和総合病院

徳島 県

たまき青空病院
徳島市民病院

香川 県

屋島総合病院
伊達病院
滝宮総合病院
麻田総合病院

愛媛 県

松山赤十字病院
今治第一病院
済生会西条病院

福岡 県

白十字病院
しぶた乳腺クリニック
広瀬病院
及川病院
原土井病院
福岡労働衛生研究所
健康財団クリニック
木村病院
千鳥橋病院
嘉麻赤十字病院
久留米総合病院
聖マリア病院
新古賀クリニック
宮田病院
井上病院
福岡徳洲会病院
福岡青洲会病院

高木病院 予防医学センター
大牟田市立病院
飯塚病院
三萩野病院

佐賀 県

吉本クリニック
こが医療館 明彦・まきこクリニック
やよいがおか鹿毛病院

長崎 県

長崎掖済会病院
三原台病院
聖フランシスコ病院
光晴会病院
長崎県対馬いづはら病院
長崎県上対馬病院
山下外科医院
長崎県上五島病院
泉川病院
諫早総合病院
宇賀外科医院 甲状腺・乳腺クリニック
西諫早病院
宮崎総合健診センター

熊本 県

熊本県総合保健センター
球磨郡公立多良木病院企業団
公立玉名中央病院附属健診センター
宮崎外科胃腸科医院
やまぐちマナティ
天草中央総合病院

大分 県

大分県地域成人病検診センター
大分東部病院
有田胃腸病院
臼杵市医師会立市民健康管理センター
大久保病院
新別府病院

鹿児島 県

かねこクリニック
さがらパス通りクリニック
相良病院附属プレストセンター
今村病院
金子病院
上村病院
検見崎病院
たんぼほクリニック
朝戸医院

沖縄 県

宮良クリニック
浦添総合病院 健診センター

(都道府県別、順不同)

2014年
ピンクリボン月間

みなさん啓発活動ご苦労様でした

啓発ティッシュ配り、ピンクリボンフェア等の写真をランダムに載せました。
たくさん写真を頂きましたが、紙面の関係で一部のみ掲載しています。

朝日生命様



10月21日 大阪支社前啓発チラシとティッシュ配り

福岡県福岡市 博愛会病院様



10月1日～ 院内での啓発ティッシュ配り



10月25日 ピンクリボンフェア2014の開催

しんゆりボンスハウス様



10月29日 宮前区健康福祉課健康セミナーにて



10月12日 「あさお区民まつり」にブース出展

金沢メディカルステーションヴィーク様



10月3日 金沢駅で啓発ティッシュ配り
記念撮影は金沢のシンボル「鼓門」

10月1日 五稜郭タワー ピンクのライトアップ

熊本県熊本市 済生会熊本病院予防医療センター様



10月5日 「からだの健学祭」にてティッシュ配布とパネル展示と自己触診指導



ピンクリボンin函館 Team PINK! 様



10月1日 ピンクリボンキャンペーンで啓発ティッシュ配布



神奈川県横浜市 戸塚共立メディカルサテライト健診センター様



9月23日 ピンクリボン・マッチ 「乳がん検診を受けましょう!」と歩きました。



10月4日 ピンクリボン・フェスティバル

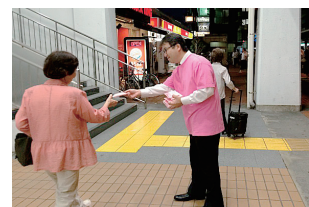
愛知県犬山市 総合犬山中央病院様



9月22日、10月10日ポスター展示と相談コーナーの開設
10月1日、10月4日パンフレットとティッシュの配布



戸塚駅、東戸塚駅で啓発ティッシュ配り



Breast Care Nurse

福井赤十字病院 吉川 朋子さん

いつも感心しながらピンクリボンニュースを読まさせていただきます。今回は私の勤務する福井赤十字病院を紹介したいと思います。福井赤十字病院は病床数600床の福井県の中核病院で、乳腺専門医3人が中心となり乳がん患者さんの診療にあたっています。インプラントによる乳房再建術も保険適用になり、患者さんが安心して術式を選択することができるようになりました。

最近のトピックスは、10月より休日乳がん検診を始めて多くの方の予約をいただいていることです。これを機に、今まで仕事の都合で検診を受けられなかった方も、積極的に検診を受けていただき、早期発見・早期治療につながることを願っています。もう一つは、毎週乳がん外来化学療法カンファレンス、マンマカンファレンスを開催していることです。医師、薬剤師、看護師、医療社会福祉士が参加して、患者さんの治療方針の確認や情報交換を行い、患者さんに優しい医療の提供に寄与できるよう努めています。

私は普段は中央点滴室で、外来化学療法を受ける患者

さんのケアを担当しています。毎週月曜日は、入院中の患者さんを訪問し、医師からのがん告知や治療方針などの説明に同席しています。患者さんの精神的サポートや納得して今後の治療選択ができるように心がけています。また、現在は病棟とリハビリスタッフと協力し、術後の退院指導パンフレットの改定中です。J.POSHさんのかわいい自己検診のイラストも活用させていただき、なかなか好評です。今後は、退院後よくある補整下着やリンパ浮腫の相談についても盛り込んでいく予定です。これからも患者さんのより良い療養生活を支援できるように、多職種で切れ目のないサポートをしていきたいと思っています。



吉川さん（左から二人目）と
病院スタッフの皆様

J.POSH事務局からのお知らせ

- * この冬号には、2014年J.M.Sに参加頂いた感謝と、このNEWSを読まれた皆様を通じて、来年のJ.M.Sに休日しか検診に行けない人へ受診を勧めて頂くことを目的に医療機関名を掲載しました。あらためて御礼申し上げます。
- * 「ピンクリボン月間」のコーナーは「自己検診啓発ティッシュ配りキャンペーン」で当選された団体やピンクリボン月間に活動された皆様の写真を掲載しました。皆様啓発活動ご苦労様でした。
- * 『バスタイムカバーモニター』第1期募集は締切り、当選者の方々には、既に、バスタイムカバーをお送りしました。モニターアンケートをお願いします。2015年春号では、その使い方のアイデアについて掲載を予定しています。（第2期の募集締切は、12月31日です。）
- * 『家族で湯ったりキャンペーン』には396通のお申込みを頂きました。11月17日に抽選を行い、12家族の皆様にご招待状をお送りしました。（事務局）

PRNj 冬号あとがき

《日本人3人がノーベル物理学賞受賞》というピックアップニュースに、改めて日本人としての矜持をもちました。ノーベル賞といえば思い出すのは2年前、山中伸弥・京大教授が受賞した医学生理学賞。山中教授が作製した<iPS細胞>はその後臨床研究が進められ、今年9月12日には理化学研究所で世界初の目の難病患者への移植手術が行われて、再生医療実現に大きな1歩を踏み出しました。医学・医療に関しては全くの素人ですが、こうした再生医療進展のニュースに接して思うのは、現時点では重いとされているがん等の病気でも、この技術の進歩で、患者にとって明るい明るい未来が訪れる日がそう遠くはないのではないか-という思いです。専門家から“そんなに簡単な話ではありませんよ”とお叱りを受けそうな気がしないでもないですが、世界の最先端を走るわが日本の研究者の皆さんが、近い将来実現してくれることを信じて待ちましょう。

(T・I)